



本事業は、SDGsの「17 パートナーシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2026年7月7日(火)  
愛知県政策企画局国際課  
国際戦略グループ  
担当 織田、中井  
内線 2447、2399  
ダイヤル 052-954-6130

愛知県経済産業局産業部  
産業立地通商課国際業務企画グループ  
担当 植村、太田  
内線 3394、3393  
ダイヤル 052-954-6356

## 知事の東南アジア渡航中の行事結果について

2026年7月6日(月)午前、知事はインドネシア共和国・ジャカルタ首都特別州において、ゴーベル日本国会議員連盟会長と面談しました。また、午後には、ファイナル工業副大臣と面談しました。

### 1 ラフマット・ゴーベル インドネシア日本国会議員連盟会長との面談

(担当：国際課)

#### (1) 日時

2026年7月6日(月)午前9時から午前10時5分まで  
(日本時間7月6日(月)午前11時から午後0時5分まで)

#### (2) 場所

国民議会議事堂(ジャカルタ首都特別州)

#### (3) 面談者

ラフマット・ゴーベル インドネシア日本国会議員連盟会長  
プティ・グントウル・スカルノ議員  
スバルディ議員  
ワフユディン・ヌール・アリィ議員  
ラマ・ダタオ アジア大会インドネシア選手団副団長

#### (4) 愛知県側出席者

大村秀章知事  
名古屋商工会議所 たなかゆたか 田中 豊 常務理事・事務局長

#### (5) 内容

大村知事は、インドネシア日本国会議員連盟のゴーベル会長と面談し、2024年8月以来ゴーベル会長とは7回目の面談となることの喜びを伝えるとともに、インドネシアへの訪問も7回目となることを申し上げた上で、「愛知県からインドネシアには約250社の愛知県企業が進出しており、さらに、愛知県には在留インドネシア人が全

国最多の約 21,000 人が在住しており、貴国との間には深いつながりがある。2017 年 2 月に経済担当調整大臣府と締結した「経済交流に関する覚書」を契機として、県内企業の事業展開や投資を促進するサポートデスクを 2018 年 1 月に設置している。」と発言しました。

これに対してゴーベル会長は、「知事とは長きにわたる関係を築いており、これは日本とインドネシアが協力関係にある証である。愛知の自動車産業の役割は非常に大きいですが、自動車産業のサクセスストーリーを他の分野、例えば食料分野にも波及させていただきたい。愛知県の企業は、地球温暖化による食料危機に備えた生産促進のノウハウを持っているはずである。」と述べました。また、同席したスカルノ議員始め、4 名の出席者から歓迎の言葉を頂きました。

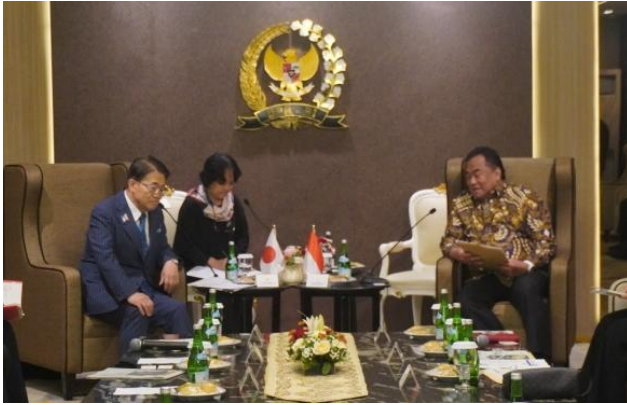
また、大村知事は、今年 9 月から 10 月にかけて、愛知県において開催される「第 20 回アジア競技大会」及び「第 5 回アジアパラ競技大会」について、「アジア 45 の国と地域から、約 20,000 人の選手団をお迎えする予定である。貴国からも多くの選手団をお迎えし、成功させたいと思っている。貴国は前回の中国・杭州大会で武術太極拳やスポーツクライミングで金メダルを獲得しているほか、パラ陸上競技やパラバドミントンでも多くのメダルを獲得している。貴国の代表選手を愛知にお迎えすること、また貴国選手の御活躍を楽しみにしている。歓迎するのでぜひ愛知にお越し頂きたい。」と PR しました。

これに対して、ダタオ アジア大会インドネシア選手団副団長は、「インドネシアからは 30 を超える種目に対し、420 名の選手始め、150 名のオフィシャルチーム等総勢 650 名が訪問予定である。情報共有や接遇の場として、インドネシアハウスを設置予定であり、場所の選定も兼ね、今月愛知県へ訪問予定である。貴県には経済活性化に尽力してもらっているので、スポーツ分野において貢献したい。」と述べました。

さらに、ゴーベル会長からは「知事がインドネシアと日本との経済の活性化に御尽力いただいているということもあり、私どもとしては、スポーツという形で真摯さを愛知県で示していければと思う。」と発言がありました。

また、同行した名古屋商工会議所の田中常務理事・事務局長が、外国公館支援協議会の事務局として名古屋への公館開設について要望する旨の発言をしたのに対して、ゴーベル会長からは、「外務大臣に話しておく。」との発言がありました。

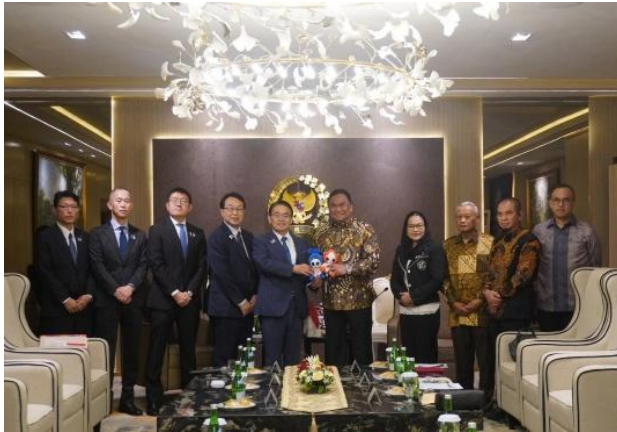
最後に、知事から「ジブリパーク」や「STATION Ai」について紹介するとともに、「スタートアップについてもインドネシアの皆様と協力、連携していきたい。」と発言したところ、ゴーベル会長は、「スタートアップコミュニティを作る等、若い事業者とも交流を深めてもらいたい。」と発言し、これに対して知事も「大賛成である。」と応じて、今後も両国の発展に向けて協力していくことを確認しました。



ゴーベル会長との面談の様子



ゴーベル会長とアジア・アジアパラ  
競技大会公式マスコット「ホノホン・  
ウズミン」



面談出席者との記念撮影



ゴーベル会長との記念撮影

## 2 ファイソル・リザ工業副大臣との面談

(担当：産業立地通商課)

(1) 日時

2026年7月6日(月) 午後1時15分から午後2時15分まで  
(日本時間7月6日(月) 午後3時15分から午後4時15分まで)

(2) 場所

インドネシア工業省(ジャカルタ首都特別州)

(3) 面談者

ファイソル・リザ インドネシア工業副大臣

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

名古屋商工会議所 田中豊常務理事・事務局長

## (5) 内容

大村知事は、インドネシア工業省を訪問し、ファイソル工業副大臣と面談しました。

初めに、ファイソル工業副大臣は、「日本とインドネシアの協力は長きにわたり行われており、愛知県との関係で見ても、2017年2月に愛知県とインドネシア経済担当調整大臣府で経済交流に関する覚書を締結し、これを受けて、愛知県は、進出企業をワンストップで支援するインドネシアサポートデスクを設置している。このような、生産的で双方に利益をもたらす協力関係を進めていきたい。」と述べました。

これに対して大村知事は、初めての面談となることの喜びを伝えるとともに、「サポートデスクの開設以来、約360件の企業からの相談に対応するとともに、企業間のネットワークを形成するための意見交換会を17回開催した。サポートデスクの運営に当たっては、引き続き、県内企業の事業活動や投資拡大に向け、御支援をお願いしたい。愛知県は、製造品出荷額が47年連続して国内第1位であり、トヨタ自動車に代表される自動車産業の他、航空宇宙産業、ロボット産業の集積地となっている。スタートアップ支援にも力を入れており、日本最大のスタートアップ支援拠点『STATION Ai』が2年前にオープンした。スタートアップの関係でもインドネシアと連携していきたい。」と述べました。

また、「今年9月から10月にかけて、愛知県において、『第20回アジア競技大会』及び『第5回アジアパラ競技大会』が開催される。アジア45の国と地域から、アジア大会には最大15,000人、アジアパラ大会には約4,000人の選手団をお迎えする予定であり、大会開催に向けた最終準備を進めているところである。貴国の代表選手を愛知にお迎えすることと貴国選手の御活躍を楽しみにしている。」と述べました。

さらに、「2027年5月に、『第60回アジア開発銀行年次総会』が愛知・名古屋で開催されるので、インドネシアの皆様にお会いできることを楽しみにしている。また、2027年6月に、国際産業展『AXIA EXPO 2027』が開催され、県では『アジアパビリオン』を設置するので、インドネシアの企業にも是非御出展をお願いしたい。」と述べました。

次に、同行した名古屋商工会議所の田中常務理事・事務局長からは、「愛知県がサポートデスクを設置しているが、中小企業からは、現地の法律や労務面などが非常に気になると聞いているので、その面での御支援をお願いしたい。」との発言がありました。

これに対して、ファイソル工業副大臣は、「2018年のアジア大会では関係者として参加した。アジア大会のホストは大変なことであるが、開催できることが誇りであり、愛知を盛り上げることに繋がるよう期待する。」と話しました。

また、「インドネシアと愛知県は、産業関係で共通の課題を持っている。つまり、それぞれの自動車産業でEVに適応していく必要があり、今後もインドネシアに進出している日本の自動車産業を支援していきたい。サポートデスクの存在も非常にうれしく思うし、最新の産業政策や規制に関する情報をサポートデスクに提供していく。

2027年のAXIA EXPOについても、インドネシア企業が出展し、存在感を示せるよう調整していく。」と話しました。

最後に大村知事は、「来日の機会があれば、ぜひ、愛知県を御訪問いただきたい。」と述べるとともに、両者で今後も愛知とインドネシアの関係を強化していくことを確認しました。



ファイソル工業副大臣との面談の様子①



ファイソル工業副大臣との面談の様子②



ファイソル工業副大臣との記念撮影



面談出席者との記念撮影